

こぬかおどり

## 団体名

小糠踊保存会 (岩国市)

代表者名	山代屋 友市	団体の目的
構成員数	29人	・岩国の郷土民俗芸能の発展に寄与するとともに、後世に伝承する
設立	S38年10月	
問い合わせ先	☎0827-43-2384 (徳増)	

## 事業名 小糠踊りで城下町風情を演出する事業

### 事業の目的

- ・約400年前から親しまれ、受け継がれてきた貴重な踊りである「小糠踊り」を、地域の城下町風情の一翼を担えるような文化に高め、広く啓発するとともに、装いを新たに整える

### 事業の内容

- ①小糠盆踊りの開催～「こぬかの盆」の再現
- ②地域イベントに参加し小糠踊りをPR  
錦帯橋まつり、岩国市民俗芸能まつり、えびす祭り、市民活動カフェなどに参加
- ③小糠踊りサロンの開講～観光交流所「本家松がね」で毎月開催
- ④小糠踊りの保存・伝承を目的に、岩国小学校児童を対象とした小糠踊り教室を開催
- ⑤小糠踊り用浴衣の新調 (新たに10着の浴衣を新調)

### 事業の成果

- ・浴衣を新調しての小糠踊りの披露により、観光客に岩国城下町風情の一端を味わっていただけた。また、往時を偲ぶ高齢者の方々を中心に、地域住民の関心も少しずつ高まっているのを感じた。
- ・貴重な無形文化財としての伝承にもつながっており、今後もより活発に活動を継続していきたい

### 活動現場レポート！

#### 「えびす祭り」での踊り披露

〈H29.11.23/錦帯橋観光案内所付近〉

今回、城下町の一角で開催された「えびす祭」で、助成対象の新しい衣装（浴衣と笠）による踊りを披露されました。

踊りの開始前に、山城屋会長から踊りの由来等の紹介があり、その後、保存会のメンバー、子ども、最後に観客も入っての3通りの踊りが行われました。踊り手、お囃子の太鼓、三味線の周りを観客が取り囲み、通りは一気に賑やかになりました。

その後、近くの観光交流所「松がね」の舞台上、扇子踊りと基本の踊りが披露されました。老いも若きも一緒になって生き活きと踊っておられたのが印象的でした。

新しい浴衣には、錦帯橋をモチーフに、桜の花びらと「こぬか」の文字がデザインされているとても素敵な仕上がりとなっており、今後も大切に使用していきたいとのことでした。

これからも、街並みの賑わいを取戻し、地域に元気を呼び込む地域資源として、小糠踊りを保存・伝承していただきたいです。



小糠踊りで地域を元気に！

